

## ●自分じゃわからなかった、ブランディング

MC：センター長から三浦様へ質問はないですか？

宮本：そうですね、私ともやり取りをしていただきましたが、桜テディを徹底的にブランディングする中で、センター専門家派遣制度で、デザイナーさんに入ってもらって、“こういうふうにしたら、もっと桜テディが際立ってブランディングできるよね”とか INPIT 知財総合支援窓口で商標権申請とかやりましたが、どうでしたか？

三浦：本当に今まで思ったこともなく、考えたこともないところでアドバイスをもらってやっていることで、商標は…。

宮本：商標は INPIT 知財総合支援窓口と連携して、商標は取ったんですけれども…

三浦：すべて自分が考えてもいなかったことで動いたので、今更ながら“お仕事ってこうしてやっていくんだ”っていうのを、改めて学んだといいますか、“全然足りてなかったんだな、自分が足りてなかったことっていっぱいあるな”って知らないことがいっぱいありました。この桜テディをブランディングしていくのにも、自分の力だけじゃもう限界あるし、自分の能力だけじゃとても足りないの、センター長の方から、またいろんな専門家の人のアドバイスを受けながら進んできました。ホームページとか EC サイトとかも含めて“どうやっていったら私に向いているのか、どういうやり方がベストなのか”っていうのは、また相談しながら教えていただきたいなと思います。

宮本：ありがとうございます。産業支援センターでは専門家の皆様にご登録いただいでいて、もしくは関係機関と連携しながら、随時このお悩みとかこれを解決するためには、“この方のお力を借りた方がいいな、この団体のお力をお借りした方がいいな”という時は適宜お声がけさせていただいて、チームテディベア・ゆうべあーずみたいな感じで、その都度“やりたいことを解決して前に進めていく”っていうプロジェクトが立ち上がるような感じになっています。デザイナーさんが入ってきた時の箱のデザインとかギャランティのカードとか、その辺りも含めて全然そんなアイディアは出てなくて、サッとそういうのが「こうしたら、350 周年とか価格帯に見合うだけのものになれるんじゃないんですか！」というアドバイスもいただきました。

三浦：そうですね、そういったところがやっぱり自分じゃわからなかったの、そうやるのか、その色ですか？そんな派手な箱を使いますか？”みたいな自分でちょっと選ばないとか、やっぱ保守的になりがちなところを専門家の「いやあ、これの方が映えるよ」とか、それはやっぱりもう本当に皆様のアドバイスがもうすべてで…。

宮本：三越に持っていったとき、バイヤーさんが、「ここまでブランディングしてきたんですね」って感じで、結構驚いていただいて、本当に 350 周年と価格帯にふさわしいような形で出展できたんじゃないかなってと思っています。そういった意味でいろんな方々のお力を借りることができるっていうのは、すごくありがたいなと思っていますね。

**三浦**：センター長様々です(笑)

**宮本**：いやいや(笑) 本当にすごくいいなと思ったりしました。

**MC**：改めて完成して、新しい箱に入ったベアちゃんを見ていかがでしたか？

**三浦**：もちろん自分の中では可愛い！すごくやっぱり気を遣って、今回3月の三越さんの分もより一層気をつけたんですけれども、言われたように箱に入ると、1段も2段も本当に可愛くなって、立派になるんですよ！(笑) 素敵でした、箱に入って誇らしげでしたよ、ベアちゃんも！(笑)

**MC**：嬉しいですね～

**宮本**：本当にベアちゃんも誇らしげで手に取ってくださる方々の層も変わりましたよね。

**MC**：ブランディングですね。

**宮本**：そうですねって…それありきです(笑) でも本当に私も一緒に勉強させていただけるのでありがたいなと思ってます。

**MC**：相談されて10ヶ月ということですが、やっぱりその道のりは早かったですか？

**三浦**：早かったですね、あっという間にはい10ヶ月過ぎました。ずっとその桜テディのブランディングに対するいろんな準備にやっぱりすごく時間がかかったんじゃないかなと思います。

**宮本**：かかりながら、ベアちゃんも作ってらっしゃいましたよね。

**三浦**：通常のベアちゃんもそうですし、桜テディも作らなきゃいけないくて、ちょっと年末中心に数が作れてなかったんですね。そっちの準備にもやっぱり時間を取られましたので、そこで一段落ブランディングに対する準備は一つ区切りついたので、また次に新しいステップアップして、また違う形で見えていただけるようなことをやっていきたいなと思います。

**MC**：相談する前の三浦様が、この今の状況って想像できましたか？

**三浦**：“こんなに一つのことに一生懸命考えて取り組む”っていうことは、ちょっとできなかったですね。私すぐ諦めちゃうのでダ～メだ！と思っちゃうので。本当にセンター長がいてくれたから、頑張れてきたことかなと思います。

**宮本**：ありがとうございます。途中で「私打たれ強いです」とか言われましたよ(笑)

**三浦**：それもありません(笑) そうですね。注文がやっぱ多かったですからね、センター長

ね！(笑) もう私もパニックになるくらいで、“いや～、そんなにできな～い！” って思いました(笑)

**宮本：**そう言いながら一つ一つ次に来られる時にはクリアして来られるんですよね。“そこがすごいな” って本当に思っていて、言うのは簡単ですけどもやるのは大変ですから、しかも作りながら。

タペストリーもそうですけど、モノが1つ1つ出来上がってくるんですよね。そのことにも感動しました、素晴らしいです本当に。なかなか濃密な10ヶ月間です。

**三浦：**まだまだ相談に行きます。

**宮本：**まだまだつづく…それは企業秘密で(笑) 乞うご期待です。

**三浦：**企業秘密ですね(笑)

**MC：**これはますます気になります。改めて大村市産業支援センター センター長宮本美砂様に相談されてみていかがでしたか？

**三浦：**本当に良かったと思います！前半にも言いましたけど、1人だったら絶対悶々として頭の中で堂々巡りして、それで諦めるっていうパターンだったと思うんですけど、“どうせできない”とか。でも「やってみなさい！ダメ元です」っていうその言葉に“そっか、ダメ元でいいんだ！そっか、そっか、とりあえず聞いてみよう！とりあえず電話1本してみよう！”ってところで、やり切れたかなと思います。走りきった感じで気が抜けています。本当に3月終わって、ちょっと一呼吸ついたので、また次の新たな展開で今からもうひと踏ん張り頑張りたいなと思います。

**MC：**次の一歩も、もう踏み出してらっしゃるところですね。センター長からは何かございますか？

**宮本：**私自身が専門家の皆様とお話もさせていただきながら、三浦さんの行動力にも押され、動くからこそ次のビジョンとか、次が見えてくるんですよね。動いたらまた次のステージが見えてくる中で、一緒に体験させていただいて追いかけさせていただいて、私は言うだけなんだけれども、自分自身がすごく三浦さんの行動力も含めて学びになりました、ありがたいなと思っています。経験値が増えました(笑)本当にありがたいです。

**MC：**本当に息ピッタリの、そしてビジョンを一致して進んで共に進んでいっているという印象を受けました。最後に大村市産業支援センターからのお知らせはございますか？

**宮本：**ありがとうございます。これもまだ企業秘密ですが(笑 どこが企業秘密やねん♪) 7月の後半もしかしたら26日辺りかな、デジタル改革、昨年度に引き続き第2弾ということで、今まさに取り組んでいる大村の事業者様を複数社呼び出して、立て続けにドドーンと話していただくというような企画が現在進行中です。少しビジョンが固まったらすぐ

にお知らせしますので、ぜひご活用いただければありがたいです。

**MC**：ぜひぜひお待ちしております、本日はありがとうございました。

**三浦・宮本**：ありがとうございました。